

児童のいじめに対する対応策

(2015年愛知自治体キャラバンまとめ)

市町村名		実施施策
1	名古屋市	「いじめ防止教育プログラム」「なごや ING(いじめのない学校づくり)キャンペーン」の全校実施 「学校生活アンケート」の全校実施、スクールカウンセラーの全校配置、ネットパトロールの実施 「いじめ・問題行動等防止対策連絡会議」の開催など
2	豊橋市	26年度に全小中学校で「学校いじめ防止基本方針」を策定 毎月「いじめ認知件数」を調査・集計・分析し、指導上の留意点を示すなど、指導の徹底を全校に指示。 生徒指導研修会、各ブロック生徒指導巡回訪問、養護教諭研修会にて、いじめ問題に係る未然防止・早期発見・早期対応についての考え方や校内体制の見直しを呼びかけた。
3	岡崎市	スクールカウンセラー、学校相談員の配置、生徒指導主事会、市いじめ不登校対策協議会の開催
4	一宮市	各校で「いじめ防止基本方針」を作成し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応を3つの柱として取り組んでいます。 未然防止のために道徳教育や人権教育を通して豊かな心の育成を目指しています。 早期発見に向けては、自動の人間関係や休み時間の過ごし方を把握するために、一日観察日を設けたり、アンケートや教育相談を行ったりして、いじめの早期発見に努めています。早期対応のために、いじめの実態を把握した時には、情報を共有して組織対応をしています。また、いじめられた児童生徒の気持ちに寄り添った対応をするために、教員の他に、県や市のスクールカウンセラーや心の教室相談員を配置して、相談体制の充実に努めています。
5	瀬戸市	全中学校にスクールカウンセラーを週1回派遣している。小学校については、5校を拠点校・10校を巡回校とし、残りの5校は市のスクールカウンセラーを派遣している。
6	半田市	教育委員会に教育相談員を配置。中学校に心の教室相談員を配置。小中学校へスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを派遣。適応指導教室を設置し、メンタルフレンドやスクールカウンセラーを派遣。
7	春日井市	小中学校へスクールカウンセラーを派遣、小学校に心の教室相談員を設置、教育研究所にいじめ・不登校相談員を設置、教育委員会にスクールソーシャルワーカーを設置している。
8	豊川市	学校いじめ防止基本方針を策定し、校内組織として、情報交換、相談活動、アンケート等を行い、未然防止、早期発見に取り組んでいる。必要に応じて、スクールカウンセラーや臨床心理士と相談できる体制をとっている。教育委員会へ毎月、学校よりいじめ認知報告書を提出させることで、把握と対応に努めている。
9	津島市	家庭児童相談員に元教員を配置し、学校、市教委等関係機関との連携を取りながら、面接・電話・訪問相談をしている。
10	碧南市	市教育相談室に臨床心理士や教育相談員を配置。学校にスクールカウンセラーを配置。
11	刈谷市	全中学校に「心の教室相談員」を配置。本年度より、市予算で全中学生に学級集団アセスメント検査を実施し、未然防止・早期発見に努めている。
12	豊田市	学校にカウンセラー、心の相談員を配置
13	安城市	安城市小中学校いじめ防止等のための基本的な方針に基づき、各学校でいじめ防止基本方針を策定し、未然防止、早期発見、早期対応に組織的に取り組む。各学期に1回いじめアンケート、職員間の情報共有、警察他外部機関との連携を図る。スクールカウンセラーの配置により、教育相談を実施している。
14	西尾市	教育相談の充実、対象児童生徒の指導体制の充実、指導者の育成

15	蒲郡市	いじめ対策推進法に基づき、各学校がいじめ対策方針を策定し、具体的で組織的な体制を構築している。心の教室相談員(市措置)及び SC(県措置)を各学校に配置し、相談体制を整備している。
16	犬山市	外部から講師を招き、いじめを早期発見する目や感覚を高めるための研修を実施。
17	常滑市	様々な事案に対応できるよう、市のスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーをそれぞれ1名ずつ配置し、児童生徒や保護者と面談をしたり、関係機関等とのネットワークを活用したりするなどして支援にあたっている。
18	江南市	市費により心の相談員を小学校10校、中学校5校に配置。 スクールカウンセラーを5つの中学校に1人ずつ、5人配置。小学校には3校を拠点として1人ずつ配置し、10校の児童保護者に対応。 少年センターにおいて相談活動を実施。
19	小牧市	学校にカウンセラー等、専門職を配置
20	稲沢市	稲沢市いじめ防止基本方針をもとに、学校・家庭・地域が連携し、未然防止、早期発見、早期対応の取り組みを進めている。 各校で定期的にアンケート及び教育相談を実施。 市内全中学校9校と6小学校(拠点校)にスクールカウンセラーが配置される。 学校の取り組みをHPに掲載したり、取り組みの概要版を保護者に配布したりするなど、家庭・地域の理解と協力が得られるように努めている。
21	新城市	家庭、地域、学校が連携し、子どもと大人がともに過ごし、ともに学び、ともに育つ『新城共育』を推進することで心の教育に取り組んでいる。 各小中学校において、年3回程度の生活アンケートを実施し、いじめの実態を把握する。その後、子どもとの面談を行い、学校、家庭等が連携を図り解決に向けて継続的に取り組んでいる。 毎月1回、いじめの状況とその対応について等を市教育委員会に提出している。 いじめ防止等のための対策を総合的かつ効率的に推進するために『新城市いじめ防止基本方針』を策定し、学校内外を問わず、児童生徒が安心する環境を整えることに努めている。 全小中学校において『学校のいじめ防止基本方針』を作成し、「学校におけるいじめの防止等の対策のための組織」を設置している。さらに、その組織には、教員以外の外部人材を配置し、専門的な立場から助言指導をいただけるようにしている。 「新城市いじめ対策人権サポート委員会」を年2回開催し、市内小中学校の子供たちの実態把握や対応の仕方の確認を行ったり、各委員が専門的な立場から情報交換を行い、未然防止に向けての取り組みを考えたりしている。また、重大事案が発生した場合は、「新城いじめ対策人権問題調査委員会」をひらき調査を行い適正な対応に努める。 不登校いじめ専門相談員を配置し、家庭訪問や学校訪問指導などの相談活動を行っている。 いじめ相談ホットラインとして、電話やメールで子どもや保護者、家族等からの相談に対応している。
22	東海市	市としてスクールカウンセラー、心の相談員を配置している。
23	大府市	各学校で基本方針を策定し、学校が組織的にいじめの未然防止、早期発見、早期対応に努める。
24	知多市	いじめ問題等対策会議の設置、いじめ防止基本方針の策定、いじめ防止対策委員会の設置
25	知立市	各校にスクールカウンセラーや心の相談員という臨床心理士を配置 年2回いじめアンケートを児童生徒に行い、それに伴って主に担任が教育相談を実施
26	尾張旭市	いじめ不登校等への早期対策として、心の教室相談員を各小中学校に配置するとともに、専門的な知識を有する心のアドバイザーを派遣し、相談窓口を設けている。
27	高浜市	学校にスクールカウンセラーを派遣している。
28	岩倉市	身近に相談ができる体制づくりに努めている。 「子どもと親の相談員」(市費)全小中学校に各1名配置 「スクールカウンセラー」(県費)両中学校及び北小学校、曾野小学校に各1名配置
29	豊明市	スクールカウンセラー1名、スクールソーシャルワーカー1名を配置している。

30	日進市	中学校に心の教室相談員を配置
31	田原市	いじめ、不登校対策会議を定期的(月1回及び必要に応じて)に開催 教育サポートセンターの相談ボックスの設置(各学校)
32	愛西市	児童福祉課相談部門としては、相談があった際には学校や学校教育課と調整する。
33	清須市	
34	北名古屋	北名古屋市いじめ防止基本方針を策定 北名古屋市いじめ問題対策連絡協議会等条例を制定 「いじめ問題対策連絡協議会」「いじめ問題専門委員会」を組織 各学校にスクールカウンセラーを配置
35	弥富市	スクールカウンセラーを各校に1名配置 教育委員会に直通電話による相談窓口を設けている。ホームページに関係機関の紹介を掲載 教員研修の実施
36	みよし市	いじめ防止基本方針に基づき、対策推進協議会を設置している。各校に子どもの相談員(小学校)、心の教室相談員(中学校)、スクールカウンセラーを配置している。
37	あま市	校内で定期的に対策委員会を開いている。学校にカウンセラーを配置。あま市教育相談センターに臨床心理士を配置して相談ができるようにしている。
38	長久手市	学期毎に生活アンケートを行い、教育相談や、スクールカウンセラー等、教育相談体制の充実を図り、いじめの早期発見、未然防止等に対応する。
39	東郷町	保護者からの相談に対応するなど、個別に対応している。 心の教室相談員を3中学校計5名配置している。
40	豊山町	学校にスクールカウンセラーを配置、また、校内いじめ防止対策委員会を設置
41	大口町	スクールカウンセラー、心の教室相談員の配置
42	扶桑町	スクールカウンセラー 小学校1名/4校(188時間/年) 中学校1名/1校(188時間/年)配置している。
43	大治町	3小学校に1名、中学校に1名のスクールカウンセラーを配置し活用している。 警察との連携協定が締結されたため、緊密に連携して問題行動等の未然防止に向けた情報の提供や指導を行うようにしている。
44	蟹江町	担当職員のみで対応することなく、複数教員で対応している。
45	飛島村	学校にカウンセラーを配置し、また、アンケートを実施
46	阿久比町	相談員を配置 担任教諭、養護教諭などが連携してケア等の対応
47	東浦町	・各学校に「心の健康相談員」を配置。また、スクールカウンセラーによる巡回面談も随時行っている。その他、今年度より「子どもと親の相談員」を学校教育課に配置し、電話・窓口・訪問等にて相談業務を行っている。 ・QU検査(教育心理検査)(年2回、小学校5.6年生及び中学校1~3年生)の実施 ・学校での教育相談(年3回、全校児童生徒を対象)の実施 ・いじめアンケート(年3回以上(学期に1回程度))実施
48	南知多町	各小中学校において、いじめアンケート(無記名アンケートを含む)を1学期に1回程度実施し、いじめの早期発見に努めている。また、愛知県から各校に派遣されるスクールカウンセラーに加え、スクールソーシャルワーカーを町で雇用し、不登校児童生徒等への家庭訪問など、児童生徒の置かれた様々な環境への働きかけを行い、問題を抱える児童生徒とその保護者を支援している。
49	美浜町	県のスクールカウンセラーを学校に配置しており、町においては電話相談窓口を設置している。また、いじめの状況報告を毎月学校から報告をさせている。平成7年より美浜町いじめ・不登校対策協議会を設置し防止や指導に努めている。
50	武豊町	
51	幸田町	「幸田町いじめ防止基本方針」を策定。教育相談室のスクールカウンセラーの充実と学校の連携強化
52	設楽町	学校にスクールカウンセラー等、専門職を配置
53	東栄町	
54	豊根村	学校にスクールカウンセラーを配置